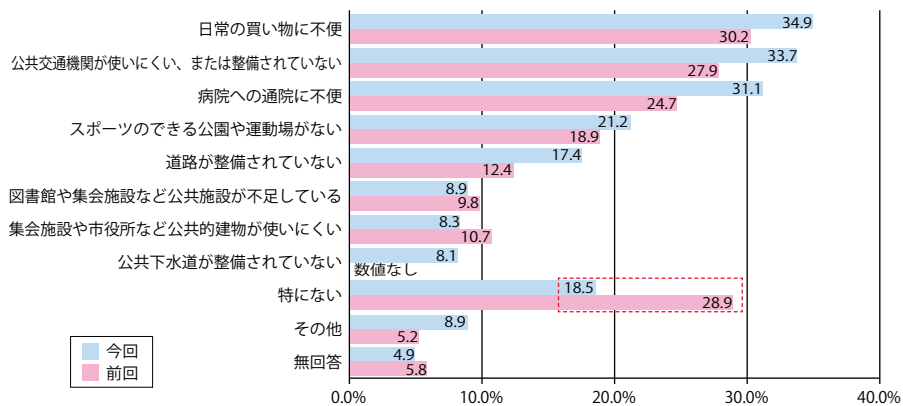


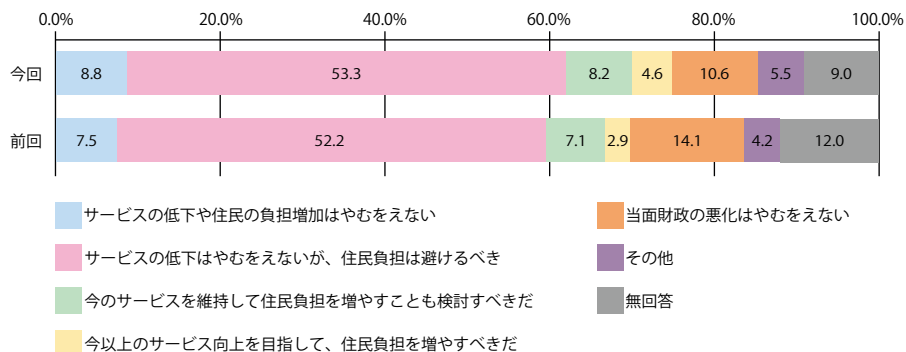
**Q 地域で不便に感じていること**

現在住んでいる地域で不便に感じていることを伺ったところ、「日常の買い物に不便」(34.9%)が最も多く、次いで「公共交通機関が使いにくい、または整備されていない」(33.7%)、「病院への通院に不便」(31.1%)が多くなっています。全体的に不便に感じていることに対する割合が前回調査より高くなっています。



**Q 財政事情を考慮したまちづくり**

財政事情を考慮しながらまちづくりを進めるにあたり、市民の考え方としては「サービスの低下はやむをえないが、住民負担の増加は避けるべき」(53.3%)が最も多くなっています。



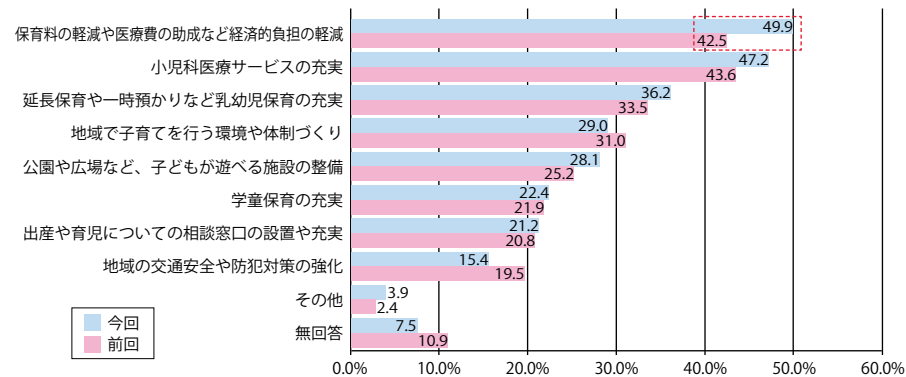
このアンケート調査にあたっては、多くの市民の皆さまにご協力いただき、誠にありがとうございました。いただいた貴重なご意見を有意義に活用させていただきます。

また市では、この市民意識調査のほかに、各地区、各団体の代表者等からなるまちづくり委員会、一般市民公募、パブリックコメントなども活用し、より詳しく市民の皆さまのご意向を伺いながら計画の策定を進めています。

■問い合わせ先：企画政策課 企画調整係 TEL 474-1111 (内線 252・256)

**Q 少子化対策・地域の子育て支援策について**

「少子化対策」・「地域の子育て支援策」について重要と思われる施策は、「保育料の軽減や医療費の助成など経済的負担の軽減」(49.9%)、「小児科医療サービスの充実」(47.2%)、等が多くなっています。前回調査と比較して、「保育料の軽減や医療費の助成など経済的負担の軽減」の割合が7.4ポイント増加しています。



**Q 市民参加の「まちづくり」について**

市民参加のまちづくりのため、市民の誰もが何かを受け持つとした場合、皆様がしたい(できる)と考える活動については、「美しいまち・景観づくり活動」(36.1%)、「自然環境を守るための活動」(30.2%)等が多くなっています。前回調査と比較して、「子育て支援活動」の割合が6.1ポイント増加し、「リサイクル活動や省資源・省エネルギー活動」の割合が5.3ポイント減少しています。

